

# 社会的選好とキャリア観の関係について

中京大学 内田ゼミ (松永・向井・山本・渡辺)

# アジェンダ

01 研究動機

02 研究方法

03 仮説

04 分析

05 結果・考察

06 今後

07 参考文献

# 01 | 研究動機

社会的選好とは

他人との関わり合いの中でどのような選択をするのか



or



# 01 | 研究動機

## 社会的選好について

### 日常の社会的選好例

- 募金活動
- ボランティア
- お土産のおすそ分け
- エシカル



する人、しない人の差って、、、？

# 01 | 研究動機

## 社会的選好について

### 9つのタイプ

競争的

弱いものいじめ的

平等回避的

羨望的

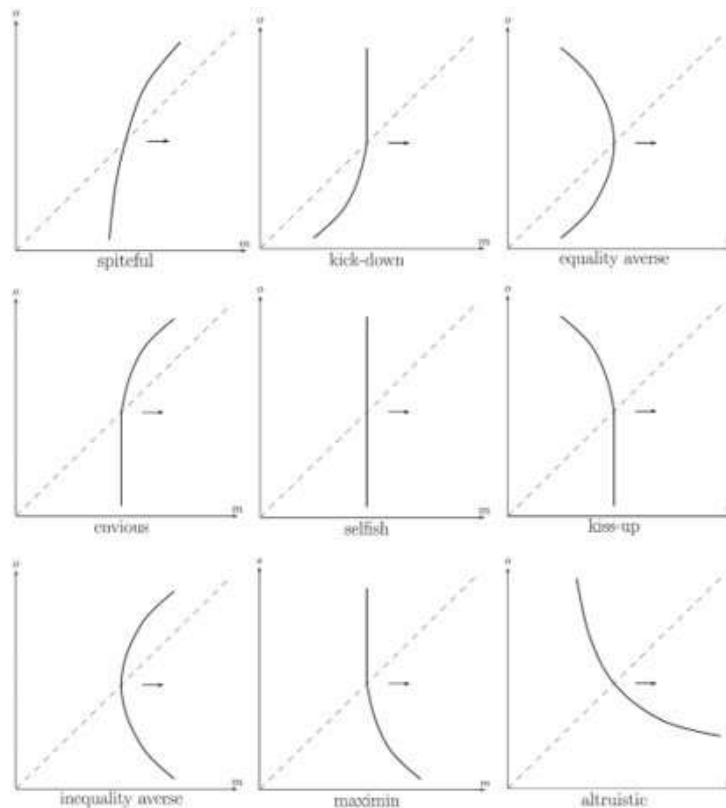
利己的

こびへつらい的

不平等回避的

マキシミンの的

利他的



# 01 | 研究動機

- 近年、価値観の多様化により学生の就労意識の変化
- あまり研究されておらず未開拓分野であること
- 労働の需給ミスマッチという問題



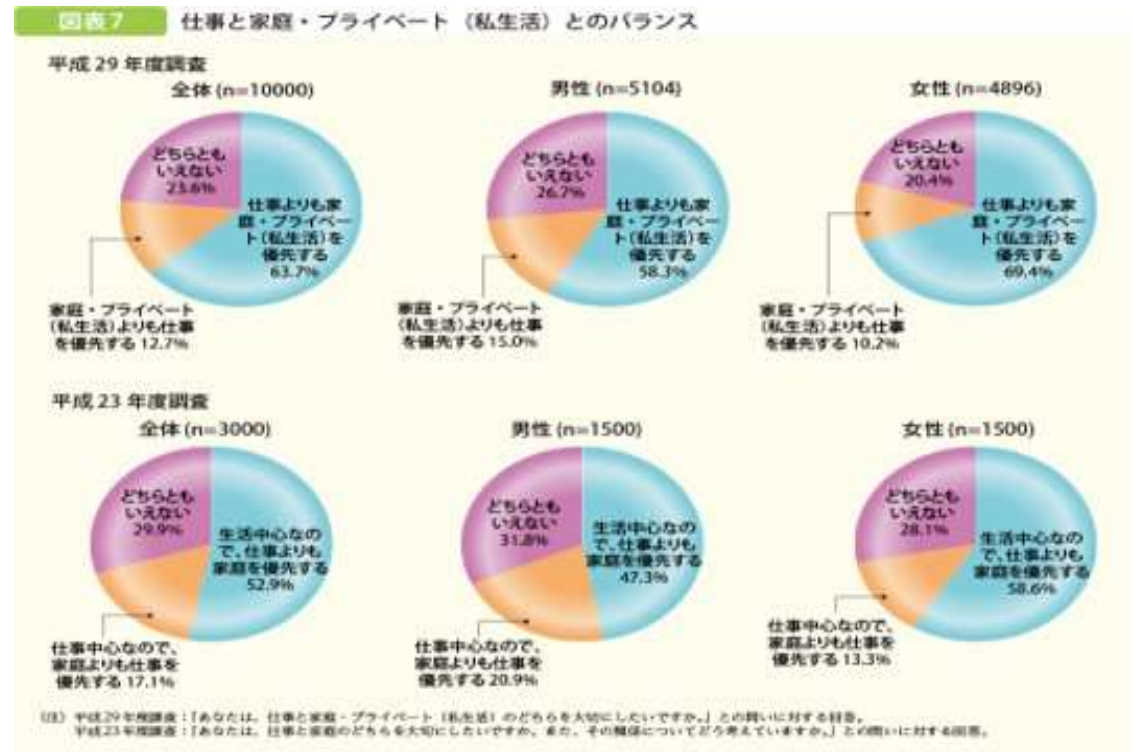
# 01 | 研究動機

## キャリア観

やりがい・社会的貢献  
を重視する人が増加



社会的選好で差が出るのでは？



# 01 | 研究動機

— 未開拓

Google Scholar

「社会的選好」 約18,200件

「社会的選好 キャリア」 約1,800件





# 01 | 研究動機

社会的課題に照らして 【離職率】

退職者（年収300万円）一人の損失

- 採用コスト
- 教育コスト
- 退職金

662万円 + (知識、生産性、イメージ)



社会的損失

# 01 | 研究動機

## —— 転職理由ランキング

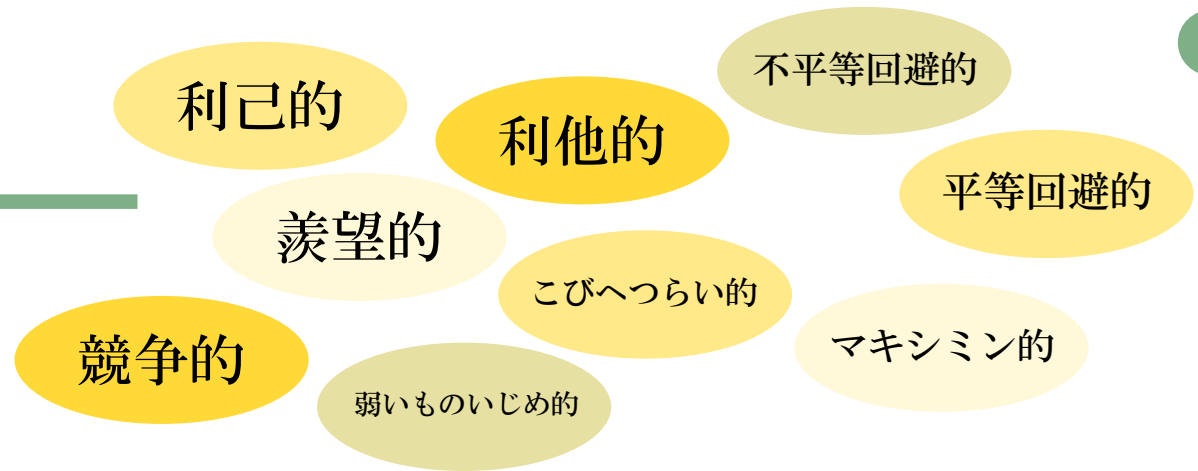
- 1位 給与が低い
- 2位 やりがいを感じない
- 3位 企業の将来性



選好把握によって  
防げる可能性がある



## 02 | 研究方法

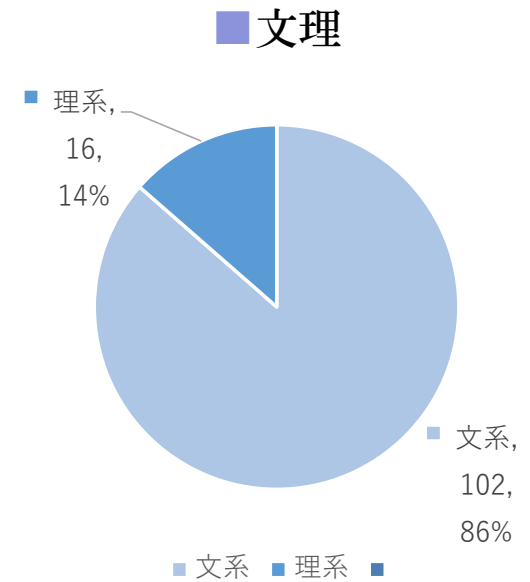
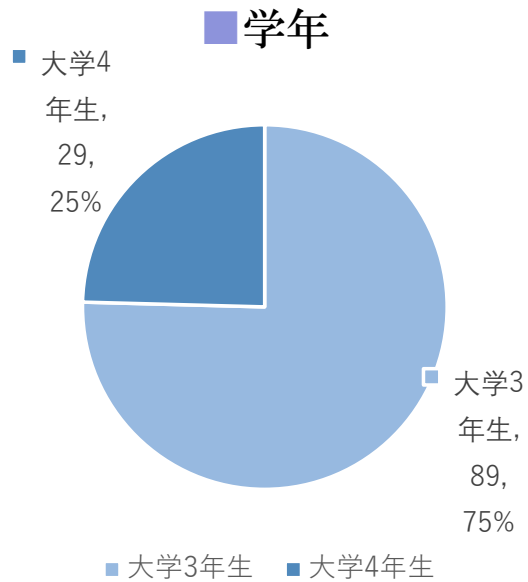
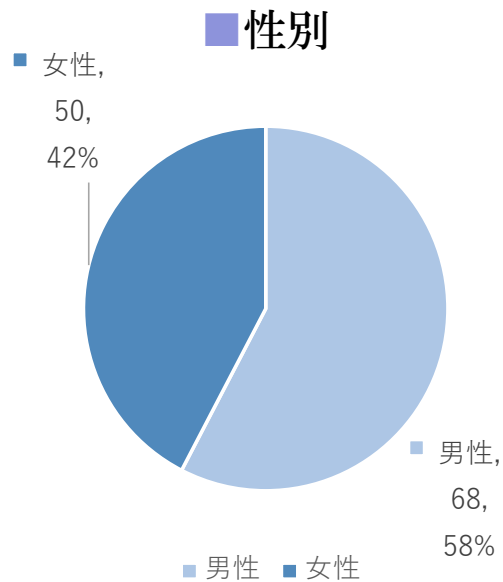


1. アンケートを実施
2. アンケートを集計
3. 社会的選好が9つのいずれのタイプか判定
4. それぞれの企業評価の平均値を出す
5. 分析
6. 分析結果から社会的選好とキャリア観の関係性を考察

## 02 | 研究方法

### アンケート回答者

■ アンケート回答人数 118人



## 02 | 研究方法

### —— キャリア観に関するアンケート内容①

就活生として企業を評価する場合に重要な指標を優先度合いについて5段階評価で教えてください

(あまり考慮しない：1点，どちらでもよい：2点，やや考慮する：3点，考慮する：4点，とても考慮する：5点)

1. 高賃金であること
2. 終身雇用制度
3. 福利厚生
4. 社風が自分と合う（働きやすい）こと
5. やりがい
6. 自分の強みを活かせるか
7. 自分が成長できるか
8. 企業理念
9. 環境への配慮
10. 雇用の機会均等性について
11. 貧困や飢餓をなくすための取り組みを行っていること
12. コンプライアンスの意識が高いこと

## 02 | 研究方法

### —— 外的報酬 (前ページの質問1~4)

外から与えられる具体的な報酬のことを指す。

### —— 内的報酬 (前ページの質問5~8)

仕事そのものから生まれる報酬のことを指す。

### —— 社会的貢献 (前ページの質問9~12)

環境やジェンダー、人種など自分以外の身の周りの人への配慮を指す。  
(今回研究する上で独自で定義したもの)



## 02 | 研究方法

### —— キャリア観に関するアンケート内容②

現時点で志望している業界について第1希望から第3希望まで教えてください。

- 金融業界
- 建設・不動産業界
- 運輸・物流業界
- 流通・小売業界
- IT業界
- マスコミ・メディア・広報業界
- エネルギー・資源業界
- 自動車・機械業界
- 電気・精密機器業界
- 食品・飲食業界
- 生活品業界
- サービス業界
- エンタメ・レジャー業界
- 公務員

## 02 | 研究方法

### 社会的選好について

- 他人との関わり合いの中でどのような選択をするのか

自分が受け取る金額の大小  
自分と比べて相手がどれだけの金額を受け取るか



自分と相手の受取額の配分に対する評価



社会的選好



## 02 | 研究方法

### 社会的選好測定用アンケート内容①

組番号1~5の中であなたの選択の変わり目となる組番号を教えてください。

組番号	選択肢A	選択肢B	あなたの選択
1	自分に800円, 相手に1300円	自分に1000円, 相手に1000円	AまたはB
2	自分に900円, 相手に1300円	自分に1000円, 相手に1000円	AまたはB
3	自分に1000円, 相手に1300円	自分に1000円, 相手に1000円	AまたはB
4	自分に1100円, 相手に1300円	自分に1000円, 相手に1000円	AまたはB
5	自分に1200円, 相手に1300円	自分に1000円, 相手に1000円	AまたはB

## 02 | 研究方法

### 社会的選好測定用アンケート内容②

組番号6～10の中であなたの選択の変わり目となる組番号を教えてください。

組番号	選択肢A	選択肢B	あなたの選択
6	自分に800円, 相手に700円	自分に1000円, 相手に1000円	AまたはB
7	自分に900円, 相手に700円	自分に1000円, 相手に1000円	AまたはB
8	自分に1000円, 相手に700円	自分に1000円, 相手に1000円	AまたはB
9	自分に1100円, 相手に700円	自分に1000円, 相手に1000円	AまたはB
10	自分に1200円, 相手に700円	自分に1000円, 相手に1000円	AまたはB

## 02 | 研究方法

### 分析説明

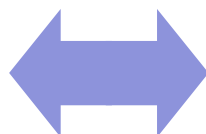
#### ■ 決定木

条件分岐によってグループを分割し、分類する手法のこと。  
グループは同じような属性で構成されるよう分割される。

#### ■ ランダムフォレスト

学習データの変化で性能が変わりやすい決定木の問題を克服するために  
多様なモデルを多く作る手法のこと。

外的要因重視

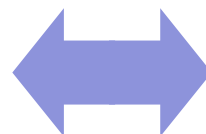


利己的

競争的

自分の利益が高いことや相手の利益より多くなることを望むタイプ

社会的貢献要因重視



利他的

不平等回避的

相手の利益が高いことや不平等にならないことを望むタイプ

## 志望業界との関係性

利己的

IT

「高い報酬」

不平等回避的

利他的

公務員

「安定」「公僕」

その他

不明

決め手に欠ける



選好が決め手となり業界決定？

## —— アンケートに基づくデータ

マキシミシ的、平等回避的、こびへつらい的、利他的はサンプル数が少ない為今回の分析対象から外します。

選考	サンプル数
利己的	41
不平等回避的	28
弱い者いじめ的	12
羨望的	12
競争的	12

利己的 … 不平等回避的  
正解率 93%

深さ 2

点数が低いほど利己的の比率高い

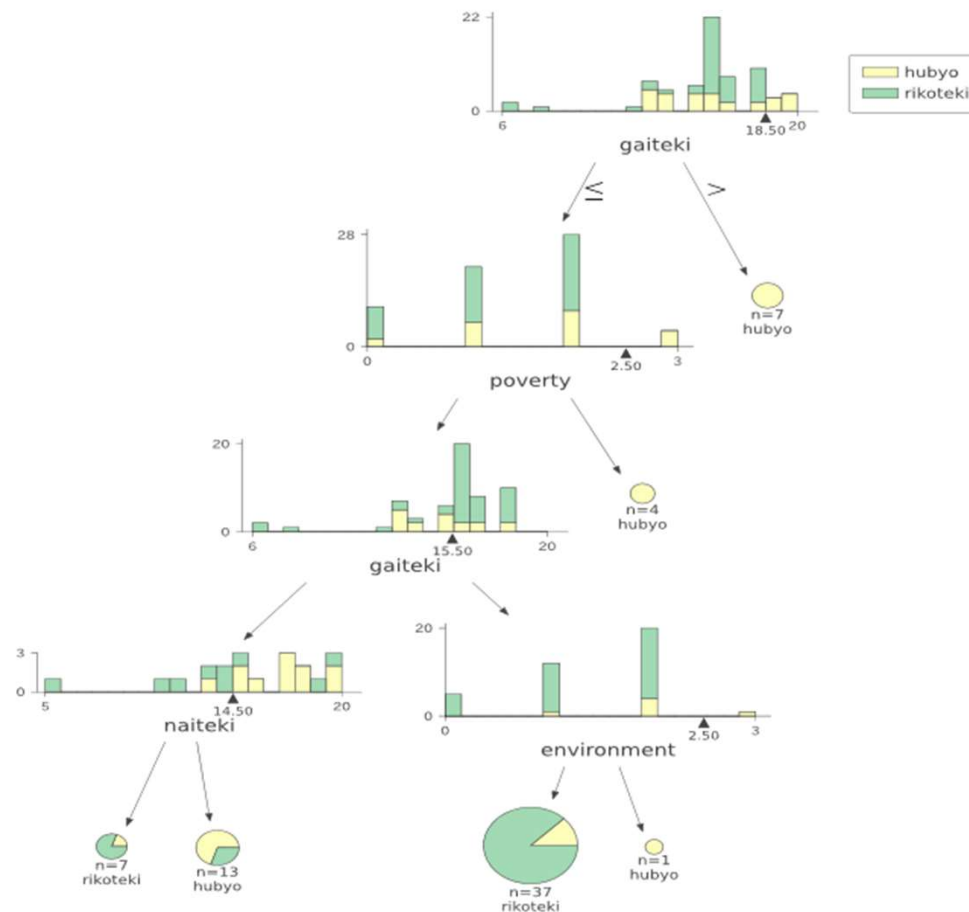
深さ 3

利己的の外的報酬が高い



利己的：具体的報酬

不平等：精神的報酬



# 04

# 分析

## ランダムフォレスト

■ 利己的…不平等回避的

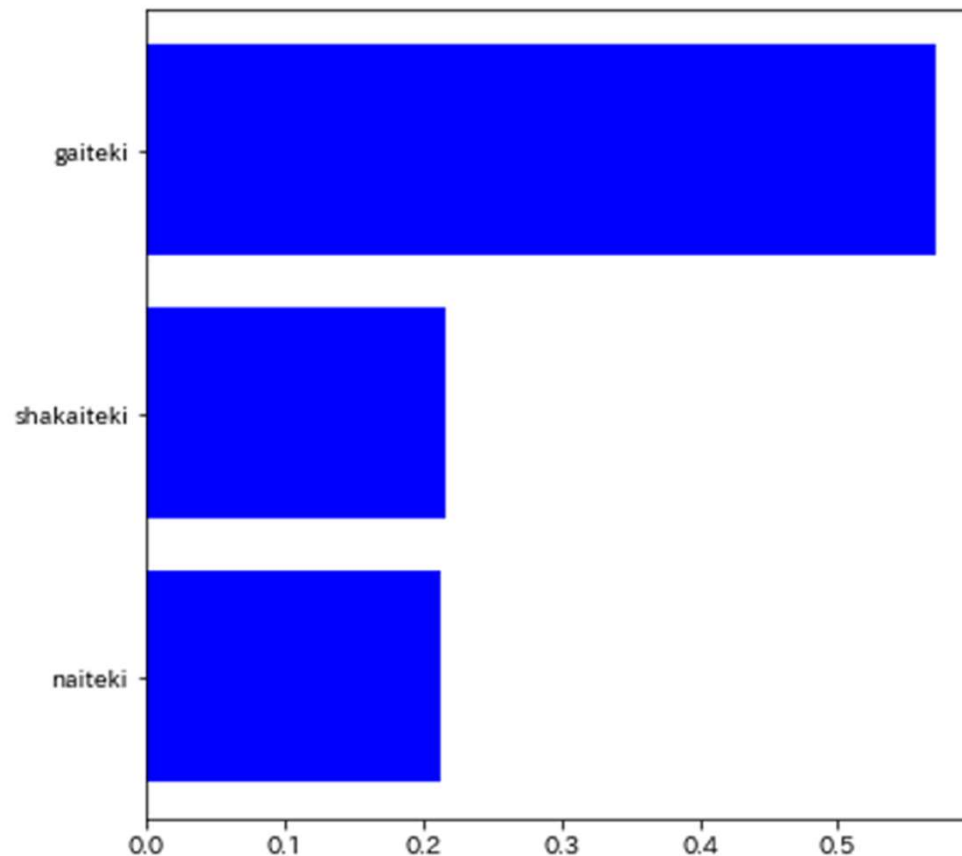
特徴量：3変数

→ 0.57/0.21/0.21 (切り捨て)

3つの分野のうち、**外的報酬**を最も重視して2つを分類



利己的は特に**外的報酬**の値が高い





# 04

# 分析

## —— ランダムフォレスト

### ■ 利己的…その他

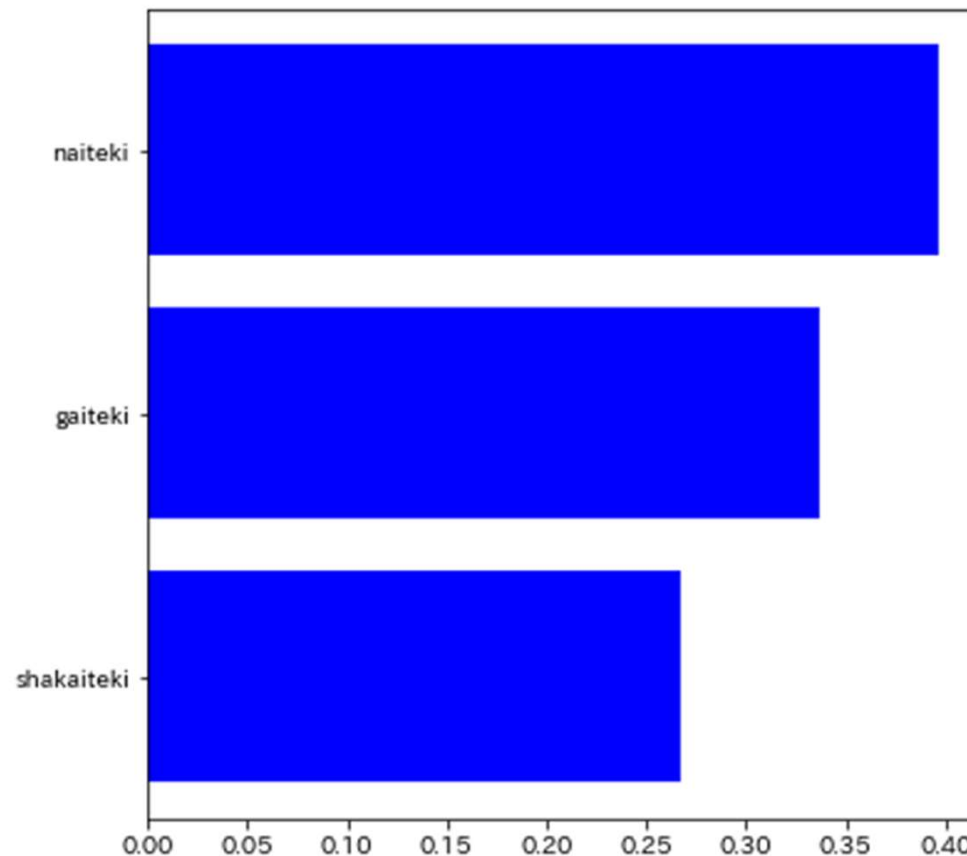
特徴量：3変数

→ 0.33/0.39/0.26 (切り捨て)



差がない

利己ー不平等回避的は外的報酬が顕著



## ■ 外的報酬

## ■ 内的報酬

## ■ 社会的貢献

	外的報酬		内的報酬		社会的貢献			
	利己的	不平等回避的	利己的	不平等回避的	利己的	不平等回避的		
15点以上	34人	19人	15点以上	22人	19人	15点以上	13人	10人
	83%	68%		54%	68%		32%	36%
16点以上	32人	15人	16点以上	19人	15人	16点以上	7人	7人
	78%	54%		46%	54%		17%	25%

外的、内的、社会的は4つの質問により構成  
各4以上で16点以上になる



利己的と不平等回避的では重視する分野が異なる

# 04

# 分析

## ランダムフォレスト

- 利己的…不平等回避的

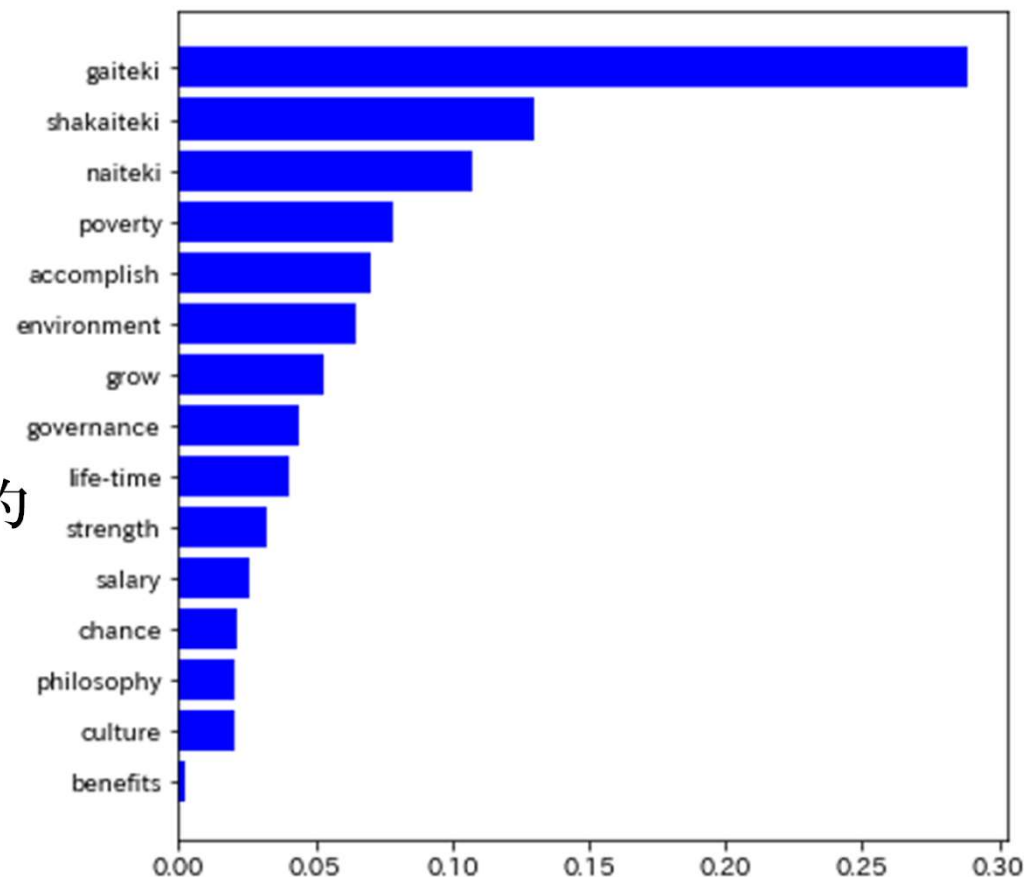
特徴量：全変数

個別の変数より外的・内的・社会的

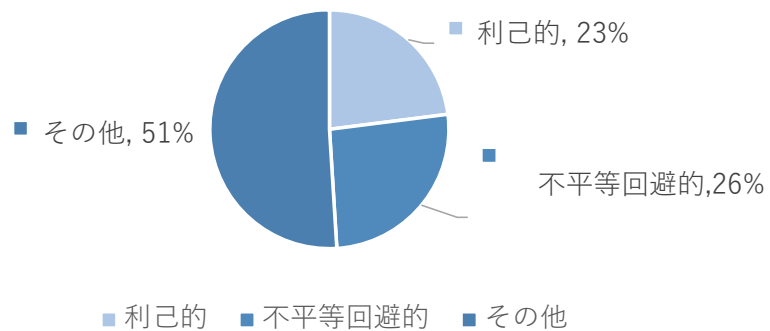
→重い



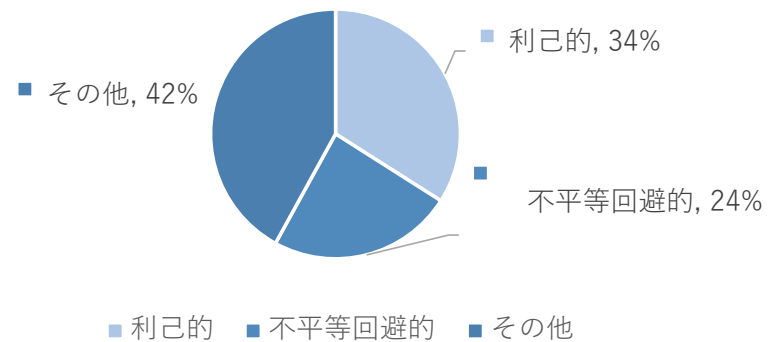
傾向として表れている



■ 公務員の社会的選好の割合



■ 全体の社会的選好の割合



消極的な要因として働く

## 05 | 結果・考察

1. 選好間のキャリア観に一定の違い → 仮説△
2. 個別ではなく、傾向で → 仮説○
3. 消去法としての選好の影響 → 仮説×



「選好」の影響範囲を理解することが必要

- 離職者、転職者へのアンケート調査  
→ 選好とキャリア観のミスマッチは存在するか
- 学生の追跡調査  
→ 離職者の特徴把握

## 07 | 参考文献

- ブルーバックス社出版 「意思決定の科学」
- [特集 就労等に関する若者の意識 | 平成30年版子供・若者白書（概要版） - 内閣府 \(cao.go.jp\)](#)
- <https://corp.en-japan.com/newsrelease/2018/13174.html>
- [退職者が1人出ることで発生する会社の損失額と費用以外の損失 \(saiyou-cons.com\)](#)
- 厚生労働省 令和2年度「雇用動向調査結果の概要」
- <https://gallery.intage.co.jp/ethical-consumption/>

## 07 | 参考文献

特集 就労等に関する若者の意識 | 平成30年版子供・若者白書（概要版）  
- 内閣府 ([cao.go.jp](http://cao.go.jp))

Rudolf Kerschbamer, Daniel Müller.

Social preferences and political attitudes: An online experiment on a large heterogeneous sample.

Journal of Public Economics, 2020, Volume 182, 104076, (online),

<https://www.sciencedirect.com/science/article/pii/S0047272719301379?via%3Dihub>